

私のアセンション日記 宮

子どもの頃から、「私とは何か?」「世界のために生きるとは?」つまり「私のミッションとは何か?」ということ問い続けていたと思います。長ずる過程で、自己を掘り下げたいという思いは、出来事、対人関係を通して、自己批判というベクトルを伴うようになっていきました。

Ai 先生のアカデミーに出会い、まず指し示されたことは、愛、ハート、100%のポジティブさ・・・それは5次元という世界でした。

私はいくつかの経験から、ハートを閉ざし、愛に対しても懐疑的になっていたことに気づきました。しかし5次元にフォーカスをしていくうちに、絶対的な愛というものが自己の中心に常にあることを感じ、それこそが、本来の自分＝ハイアーセルフであると思出すことができました。それは、まさに高次の宇宙へとつながる扉であり、問い続けていた自らのミッションにつながるものでした。真に自己を掘り下げるとは、反省し続けるような方向ではなく、本来の高次の自己を発見するというポジティブさにあると気づきました。

今までの私は、経験から、ただポジティブであるというのは単純でお気楽なのではないか、様々な角度から批判的に物事をとらえることができるのが大人であると擦り込まれていたように思います。

しかし今の私は、ポジティブであることは、宇宙に対するマナーなのだと思います。ポジティブであって初めて宇宙の中では大人といえるのではないかと。批判的であるというのは、相対的な視点から生じます。それは統合という真の姿へといたる以前の（宇宙の中では学生のような）段階なのではないかと。

真の自己とは、宇宙のひな型でもあります。どんなに小さなひな型にも、無限に大きな宇宙が連なり、共に作用しています。

また、おそらく101%～200%～1000%、～1000000000%～∞のポジティブというものも存在するのだと思えてきます。

宇宙は無限に進化＝アセンションしており、その宇宙と小さな宇宙である私が協働創造していくこと、それが私という存在の本来のミッションなのだと思います。

日常の仕事の中にも、実は無限の可能性があることがわかります。喜びが湧き起こります。太陽のようにすべてのものに無限にエネルギーを与えてくれる宇宙を信頼する、今の私がいます。